

2025年度 社会福祉法人 めやす箱 地域生活部門
事業報告

1. 地域生活部門各事業について

- ・倉敷市生活困窮者自立相談支援事業
- ・倉敷市生活困窮者家計改善支援事業
- ・倉敷市ひきこもり相談支援事業

2. 地域生活部門目標における具体的な取り組み

- ①法人理念及び基本方針を基に、2025年度部門目標を下記事項に定め実施した。
- 相談者の主訴に対し専門的観点から適切な支援を行う
- 関係機関と協働した生活困窮者の早期発見・早期支援の実践
- 相談者の意思を尊重した、寄り添い・伴走型の支援を行う
- ・相談支援において積極的な支援提案（アウトリーチ支援含め）を行い必要な支援に繋ぐ事・ワンストップの相談支援として相談者の抱える複合的な課題に対し、自立相談支援や必要な関係機関への繋ぎ等丁寧な支援に取り組んだ。
- ・2025年度の新規相談件数が4,080件であった。倉敷市との仕様書で定めている年間達成目標である1,524件/年を大幅に上回る結果となった。日々の、相談支援においての相談員の対応による苦情にならないように留意する事も含め意識的な取り組みが行えた。
- ・個別プラン作成を積極的に行い、自立に向けた生活再建が行えるよう、切れ目のない寄り添い・伴走型の支援を行い相談者個々の目標達成に向けた支援が行えるよう取り組んだ。また、相談者のアセスメントを専門的な観点を含め丁寧に行い、課題を抽出し連携できる関係機関とは積極的に連携を行った。
- ・2025年度支援計画策定件数1,791件となっている。実績値については、倉敷市との仕様書で定めている年間支援計画策定件数762件/年を大きく上回る結果となった。
- ・複合的な課題を抱えているケースでは、課題に応じて関わる機関が多数存在する為、倉敷市生活自立相談支援センターが中心となり関係機関への情報共有や支援の方向性等を共有しながら支援が途切れる事のないように努めた。
- ・各分野（定例、就労、就労準備、ひきこもり）支援調整会議を実施し会議毎に参加機関が異なっており、困難ケースの情報共有や、支援の方向性、関係機関との連携した支援に努めた。また、他機関の会議や研修の参加、関係機関との同行支援など積極的に行い、円滑な連携が行えるよう努め、各機関との連携、支援機関同士の顔の見える関係作り、関係機関が互いに支援内容を理解する事で円滑でスピーディーな支援連携が行う事ができた。
- ・就労支援では、ハローワークや民間企業と積極的に連携を行い、就労者や収入増収者を

増やし生活再建が図れるよう就労支援を行った。令和7年度就労者340人・増収者1585人となっており、倉敷市との仕様書で定めている年間支援計画策定件数458件/年を大きく上回る結果となった。

- ・倉敷市ひきこもり相談支援事業では主にアウトリーチ支援を中心に訪問支援を実施、また対象者本人だけではなく家族に向けての相談支援を行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ継続的な支援に取り組んだ。

2025年のひきこもり支援対象者は399人にのぼり、延べ支援回数は1,390件となっている。

3. 地域生活部門事業展開について

- ・生活困窮者・ひきこもり当事者やその家族のニーズに対する早期支援・早期解決、自立に向けた積極的な支援を行ない、行政機関・医療分野・民生、児童委員・福祉分野などの関係機関等との円滑な連携できるよう取り組んでいく。
- ・地域連携・地域協働のネットワークを作り、連携支援の強化・地域の居場所支援者との繋がりを作るなど生活困窮者支援のプラットフォームを構築する。

2025 年度 倉敷市生活困窮者自立相談支援事業
報告書

1. 事業概要

(事業の名称) 倉敷市生活自立相談支援センター

(実施場所) 岡山県倉敷市阿知 1 丁目 7 番 2-804-2 号くらしきシティープラザ西ビル 8 階

(事業責任者) 池田 朋宏

(資格) 社会福祉士・精神保健福祉士・ファイナンシャルプランナー3 級

(職員配置) (

	センター長 主任相談員	相談員	相談員件家計相 談支援員	就労支援員	合計
常勤職員	0.9	4	0.4	2	8.3
非常勤職員				1	

2. 事業実績

令和 7 年度目標値	令和 7 年度実績値	達成・未達成
新規相談件数	1,542 件	4,080 件 達成
支援計画策定件数	762 件	1,791 件 達成
就労支援対象者件数	458 件	1,001 件 達成
就労、増収件数	344 件	925 件 達成 一般就労者：340 名 増収者：585 名

3. 事業の具体的内容について

①ワンストップの相談支援の実践

- ・相談支援において支援同意に向け積極的な支援提案（アウトリーチ支援も含め）を行い、必要な支援に積極的な繋ぎを行った。ワンストップの相談支援の実践として相談者の抱える複合的な課題に対して、自立相談支援は基より、必要な関係機関への繋ぎを含め丁寧な支援に努めた。

2025 年度の新規相談件数が、4,080 件となり目標を大幅に上回る相談対応を行う事ができた。日々の、相談支援においての相談員の対応による苦情にならないように留意する事を意識し、支援に対する苦情件数は0件であった。

- ・支援同意を得て、個別支援計画書作成を積極的に行い、生活再建が行えるまでの期間継続的且つ切れ目のない寄り添い・伴走型の支援を行い相談者個々の目標達成を目標に支援に取り組んだ。支援過程において、相談者のアセスメントを専門的な観点で実施、相談者が抱える課題を抽出し、関係機関と連携し積極的な支援を行った。関係機関とは、随時情報共有（本人の同意を得ている場合）を行い連携が円滑に行えるよう、自立支援機関で連

絡調整を行った。

2025年度支援計画策定件数1,791件となり、倉敷市の定める計画策定達成件数762件を大きく上回り取り組みができています。

- ・センター独自支援の一つである、食糧支援も継続的实施運用しており、依然食糧支援のニーズも高く、支援の繋がるきっかけにもなっている。食糧支援によって、飢えを解消できた相談者も多く、より一層継続的な支援の必要を感じている。

2025年度フードバンク食糧支援延べ利用者536人・延べ回数2,743回となっている。

課題であった食糧確保については、地域からの寄付や企業と連携や当法人のフードドライブ事業を活用し継続的な食糧確保に取り組んだ。

- ・生活困窮者事業居場所支援として、当事者や家族を対象とした居場所支援を年4回、就労支援をメインとした就労セミナーを年4回実施した。

居場所支援では余暇活動を中心に制作活動等を行い、参加者の満足度も非常に高かった。また、就労セミナーでは企業採用担当者を招き面接時の要点解説など就職活動に即活用できるようなテーマを中心に開催した。

②関係機関との連携強化を行い、継続的支援の実践

- ・複合的な課題を抱えているケースでは、課題に応じて関わる機関が多数存在する為、センターが中心となり関係機関への情報共有や支援の方向性等を共有しながら、支援が途切れる事のないよう、支援マネジメントを行い、関係機関が継続的に支援に関われる状況を構築する事を意識して取り組んでいる。

- ・各分野（定例、就労、就労準備、ひきこもり）支援調整会議を実施し会議毎に参加機関が異なっており、困難ケースの情報共有や、支援の方向性、関係機関との連携した支援に努めた。また、他機関の会議や研修の参加、関係機関との同行支援など積極的に行い、円滑な連携が行えるよう努め、各機関との連携、支援機関同士の顔の見える関係作り、関係機関が互いに支援内容を理解する事で円滑でスピーディーな支援連携が行う事ができた。

③一般就労開始者・就労増収者の更なる増加

- ・2025年度就労増収件数が一般就労者340人・増収者585人の計925人と目標値の344件を大きく上回る事ができている。

- ・ハローワークや民間企業と積極的に連携を行い、就労者や収入増収者を増やし生活再建が図れるよう就労支援を行った。

生活保護受給者等就労自立促進事業では、毎月ハローワーク担当者と支援調整会議を実施し、支援対象者について情報提供を行い支援の方向性について共有している。連携体制が確立している為、相談者に対してより手厚い支援提供が行えている。

- ・無料職業紹介事業での就労支援を積極的に行っている。無料職業紹介事業における支援の独自性として、相談者の特性に応じた求人紹介、求職者の就労支援(ジョブサポート支援)、面接等に必要な支援を行い、相談者の状態や状況に応じた就労支援を実施している。職場

定着支援では、就職先の企業と連携し職場訪問を行ったり定期的に企業担当者と連絡を取り合う等、就労定着に向けた支援に取り組んでいる。

- ・ 2025年度の無料職業紹介事業求職者数は、1,277件となっており、利用者ニーズは依然高い傾向にある。利用登録者の特性として、ハローワークでの就職活動ではなかなか就職に結び付かない高齢者やフリーター・ニート、また引きこもりの状況下にある方々が多く、より本人の状況に応じた職場探し・職場定着等手厚い支援が必要な対象者が増加している。相談者の特性に応じた、就労スキルアセスメントを丁寧に行い、相談者の強み弱みを把握し、企業見学や企業開拓を実施し相談者と企業とのマッチングを行い、就職に結びつける取り組みを実施。就労セミナーを開き就労に必要なスキルの習得に向けた支援や、企業人材担当者を講師に招き、必要とされる人材像について話をしてもらうなど、個々の状態・状況に応じた支援を行っている。

④任意事業との連携

- ・ くらしき就労準備支援センターとの連携については、自立支援センターでアセスメントを行い、就労の準備的支援が必要な相談者に対して、くらしき就労準備支援センターと連携した支援に取り組んだ。毎月支援調整会議を実施、新規利用者の情報共有や支援の方向性の検討、支援継続者のモニタリング等を行う事で、就労準備利用期間中から事業終了後の連携を密に支援を実施する事ができた。

2025年度くらしき就労準備支援センター利用実績 29名

- ・ いえさぼ（小学生訪問型事業）・学習教室くらすぼ（学習支援事業）との連携について、利用開始前の初回利用アセスメントは、自立支援機関で実施し対象児のアセスメントや世帯全体の状況把握も行い、各機関と連携した支援を検討していった。事業実施中に関しても、各団体との情報共有は行い、生活支援を継続して行った。

2025年度 学習支援事業くらすぼ利用実績 138名

2025年度 小学生訪問型学習生活支援事業いえさぼ利用実績 14名

- ・ 居住支援事業では、ホームレスを対象としたシェルター事業として就労支援・家計支援・転居支援、生活安定に向けた様々な支援を実施。

居住支援受託法人である社会福祉法人リンクや福祉援護課、ハローワーク等と連携し、適宜支援調整会議を実施しながら、支援の方向性・目標・到達地点などを確認し支援に取り組む事ができた。

具体的には、概ね3か月の利用期間の中で職の確保・住まいの必要な資金の確保・居住の確保を行う支援を実施。携帯電話などの確保、家族との連携など、多岐に渡っての支援が必要となる為、関係機関と連携したスピード感のある支援を実施している。

⑤一人親支援の対策の強化

- ・ 養育費の問題・就労問題・家計の問題等、貧困に陥る課題について、関係機関と連携し包括的且つ継続的に支援を実施した。

養育費等の課題については、ウィズアップ倉敷や弁護士と連携し、手続等の補助的支援や

裁判所への動向支援等を行った。

2025年度のDV等に関する相談支援の繋ぎは52件となっている。

生活支援では、児童扶養手当や一人親の貸付等の同行支援、ハローワークマザーズ部門と連携した、センターのフードバンクやデリシャスキッズクラブと連携した食糧支援を実施している。

- ・生理の貧困についても取り組んでおり、生理用品の寄付を受けて当センターで対象者に配布している。生理用品配布利用者は、283件となっており、生理の貧困に対する対策を継続的に行っている。その他にも関係機関との連携では、地域で活動する団体トワイライトホームや子ども食堂ミソラ♪(子ども食堂・子育て支援団体)と食料支援を通じて連携し、個別のケースでの連携を実施している。

⑥倉敷市ひきこもり相談支援事業との連携支援強化

- ・ひきこもり相談支援事業と連携し引きこもり等の相談に対して、訪問型支援・家族支援等、状況に応じた支援提案と共に、対象者との繋がりが持てるよう、積極的な支援を実施している。引きこもり支援では主にアウトリーチ支援を中心に訪問支援を実施、また対象者本人だけではなく家族に向けての相談支援を行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ継続的な支援に取り組んだ。

5. 活動実績表・・・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議毎月実施

月	活動内容
4月	・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会 ・重層型支援体制整備事業会議
5月	・令和7年度第1回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・倉敷市社会福祉協議会地域福祉会議 ・第4次倉敷市地域福祉活動計画策定委員会 ・生活自立相談支援センター就労セミナー
6月	・SSW・福祉援護課・生活困窮支援関係事業者連携会議 ・令和7年度児島地区要保護児童対策地域協議会 ・令和7年度重層的支援体制整備事業 ・孤独・孤立研修 ・居住支援について 支援者連携について ・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会
7月	・令和7年度倉敷市要保護児童対策協議会 ・第4次倉敷市地域福祉活動計画策定委員会 ・就労連携会議 ・生活自立相談支援センター居場所支援

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度重層型支援隊整備事業 各論的研修 A ・生活自立相談支援センター就労セミナー ・令和7年度第2回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度重層型支援隊整備事業のための基礎研修 ・高梁市ひきこもり支援研修会 ・孤独孤立プラットフォーム研修 ・倉敷権利擁護支援フォーラム ・第4次倉敷市地域福祉活動計画策定委員会 ・FP研修 ・生活自立相談支援センター居場所支援
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度真備地区福祉講演会 ・令和7年度相談支援員初任者研修 ・令和7年度重層型支援隊整備事業 各論的研修 B ・令和7年度倉敷市要保護児童対策協議会研修会 ・令和7年度倉敷市要保護児童対策協議会代表者会議 ・令和7年度重層型支援体制整備事業庁内連携会議・担当者会議「生活自立相談支援センターの家計改善支援について」 ・困難を抱える女性への妊娠期からの連携支援研修 ・生きるを支えるフォーラム2025 ・第4次倉敷市地域福祉活動計画策定委員会 ・生活自立相談支援センター就労セミナー ・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度家計改善支援事業支援者初任者研修 ・令和7年度包括的な支援体制整備に向けた研修会 ・令和7年度第1回シンポジウム「つながりを実感できる社会」 ・令和7年度ギャンブル依存症セミナー ・令和7年度第3回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・令和7年度くらしきハーモニーセミナー ・生活自立相談支援センター居場所支援
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度倉敷地域自立支援協議会精神部会「ひきこもり支援を考える専門分科会」 ・令和7年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ・令和7年度生活困窮者自立支援関係機関研修会 ・令和7年度重層型支援隊整備事業のための基礎研修 ・令和7年度くらしきハーモニーセミナー

	<ul style="list-style-type: none"> ・和介護グループ 虐待防止に関する研修会 ・高校生の為の居場所支援説明会 ・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修 ・第17回倉敷権利擁護支援フォーラム ・令和7年度真備地区関係者事業所等連絡会 ・玉島・浅口地区MSW連携会勉強会 ・生活自立相談支援センター就労セミナー
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度玉島地区要保護児童対策協議会 ・令和7年度児島地区要保護児童対策協議会 ・令和7年度市町村社協・生活困窮者自立支援機関等連絡会議 ・包括的な支援を考える会・ごちゃまぜ支援の集い ・令和7年度生活困窮者支援等のための地域づくり事業に関する評価会議 ・生活自立相談支援センター居場所支援 ・令和7年度第4回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・倉敷市生活困窮者事業ネットワーク会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進フォーラム

2025年度 倉敷市生活困窮者家計改善支援事業
報告書

1. 事業概要

(事業の名称) 倉敷市生活自立相談支援センター 家計改善支援事業
 (実施場所) 岡山県倉敷市阿知1丁目7番2-804-2号くらしきシティープラザ西ビル8階
 (事業責任者) 池田 朋宏
 (事業担当者) 文箭 美里
 (資格) 社会福祉士・精神保健福祉士・ファイナンシャルプランナー3級
 (職員配置)

	家計改善支援員	合計
主任相談員兼務	0. 1人	0. 1人
相談支援員兼務	0. 4人	0. 4人

・1週5日とし、週2日（火・木）を家計支援業務に従事。

月	火	水	木	金
自立相談	家計改善	自立相談	家計改善	自立相談

2. 事業実績について

2025年度目標値		2026年度実績値		評価
家計改善支援事業利用決定件数	48件/12ヶ月	家計改善支援事業利用決定件数	48件/12ヶ月	達成
支援計画（プラン）作成のうち自立に向けての改善が見られた者の件数	38件/12カ月	支援計画（プラン）作成のうち自立に向けての改善が見られた者の件数	47件/12ヶ月 上回って達成1件 達成44件 一部達成2件	達成

3. 家計改善支援事業終結評価の内訳（2025年4月～2026年3月）

- ① 上回って達成 1件
- ② 達成 44件
- ③ ほぼ達成 0件
- ④ 一部達成 2件
- ⑤ 達成できなかった1件

4. 事業目標達成の具体的取り組み

- ・家計収支の均衡がとれていない、家計管理に困難さを抱えている等、家計状況の悪化により、困窮状態に陥っている者や、最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれのある世帯に対し、家計収支の見える化・家計スキル向上の為家計改善支援事業を実施。
- ・多重債務や過剰債務を抱え返済が困難になっている、家賃や水光熱費、携帯料金、学費、

税金などの滞納により生活が困難になっている等の様々な要因が家計を圧迫し、家計自体が廻らなくなっている為、弁護士・司法書士と連携した債務整理や税金の分納相談同行、家計改善プランを作成し家計表・キャッシュフロー表等のツールを活用した家計改善支援を実施した。

- ・ 2025年度家計改善支援事業（家計の見える化支援対象者も含む）の新規相談は1,300件となっており、その中から更に専門家との連携が直ちに必要なケース・分納相談等が必要なケースを家計改善支援調整会議で対象者を選定し、家計改善支援事業の利用数が48件となっており、目標値48件を達成している。
- ・ 家計改善支援事業では、定期的な家計相談を行い、本人や世帯の相談時家計表、家計表キャッシュフロー表を作成して家計の見える化を図り、家計課題の可視化を行っている。困窮に陥った背景、要因を分析し、作成した家計改善計画書を基に課題解決に向けた具体的な支援内容や家計改善の道筋を示しながら、相談者の家計管理能力及び家計管理に対する意識の向上、困窮状態の改善、生活再建を目的とした支援に取り組んだ。
- ・ 債務相談については、倉敷消費生活センターと連携し、債務整理のアドバイスや弁護士、司法書士等の専門家へ繋ぎを行っている。専門家と連携して、具体的な債務整理の方法を検討し、家計改善に向けた支援を行っている。
- ・ 税金の滞納相談については、関係各所（納税課、国民健康保険課等）へ同行し、相談者と共に作成した家計表やキャッシュフロー表を用いて、滞納改善に向けた分納相談を行っている。定期的な家計相談を実施し、返済の状況確認や返済計画の見直しを行う等、伴走型の家計支援を実施している。
- ・ 相談者が主体となり、関係機関、専門家と連携し、返済計画を家計改善支援事業のプラン化することで、プラン内容に沿って返済することが出来ている。定期開催している家計改善支援事業支援調整会議では、家計改善支援事業の利用が必要な相談者の課題や支援の方向性等について確認を行い、支援継続者のモニタリングや支援終了の有無についても検討している。モニタリング検討者は、家計改善支援事業支援調整会議において終結評価の内容として、「家計改善支援終結目標と照らし合わせて家計再生が達成した件数が47件/12ヶ月」となっており、家計改善支援の効果を実証できている。

5. 年間活動実績表

月	活動名
4月	・家計改善支援事業 支援調整会議
5月	・家計改善支援事業 支援調整会議
6月	・家計改善支援事業 支援調整会議
7月	・家計改善支援事業 支援調整会議
8月	・家計改善支援事業 支援調整会議
9月	・家計改善支援事業 支援調整会議
10月	・家計改善支援事業 支援調整会議

11月	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度家計改善支援事業支援者初任者研修・家計改善支援事業 支援調整会議
12月	<ul style="list-style-type: none">・家計改善支援事業 支援調整会議
1月	<ul style="list-style-type: none">・家計改善支援事業 支援調整会議
2月	<ul style="list-style-type: none">・家計改善支援事業 支援調整会議
3月	<ul style="list-style-type: none">・家計改善支援事業 支援調整会議

2025年度 倉敷市ひきこもり相談支援事業
報告書

1. 事業概要

(事業の名称) 倉敷市ひきこもり相談支援事業

(実施場所) 岡山県倉敷市阿知1丁目7番2-804-2号くらしきシティープラザ西ビル8階

(コーディネーター) 松本 奈緒

(事業責任者) 池田 朋宏

(資格) 社会福祉士・社会福祉主事・ファイナンシャルプランナー3級

(職員配置)

	コーディネーター	合計
常勤職員	1名	1名

2. 事業実績について

2025年度実績項目	2025年度実績値
新規相談件数 (ひきこもり状態にある方又はその家族・関係機関含む)	93件
支援対象者数 (ひきこもり状態にある方又はその家族)	399件
延べ支援回数 (アウトリーチ支援・関係機関連携含む)	1,389件

3. 具体的内容について

- ・引きこもりの相談に対して、訪問型支援・家族支援を中心に相談内容や支援対象者の主訴に応じた寄り添った支援を行っている。また、相談者・対象者との繋がりが持てるよう、訪問型支援やメールやLINE等のソーシャルツールを活用し積極的に支援を実施。
- ・引きこもり支援では主にアウトリーチ支援を中心に支援を行い、また対象者だけでなく、その家族に向けての相談支援にも重点を置き行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ支援が途切れる事のないよう継続的な支援に取り組んだ。
毎月定期的に引きこもりの支援調整会議を実施し、相談のあった全ケースの支援内容のフィードバックや支援の方向性やアプローチ方法などを検証している。
- ・ひきこもり支援では長期的な支援計画が必要となる為、対象者と支援に繋がるまでの期間、自宅へのアウトリーチや家族支援として家族会への参加の促しや家族会への同行参加等の支援を行い、家族も支援者として関わってもらえるよう取り組んだ。
支援対象者との繋がりができると信頼関係の構築に向け積極的にアウトリーチを行い、

本人の希望を傾聴した支援を実施。社会との接続の第1歩として、社会福祉協議会と連携した居場所支援への繋ぎ、生活自立相談支援センターで実施している居場所支援への繋ぎ、就労準備支援や無料職業紹介事業を活用した就労支援など、支援対象者個々のオーダーメイド型の支援が行えている。

4. 事業目標（具体的取り組み）

①新規相談者の増加

- ・関係機関からの相談や、関係機関が相談者へセンターを情報提供し繋がるケースもある。センターがひきこもり等相談窓口であることを周知することが出来ている。

②アウトリーチ支援を通して関係機関との連携強化

- ・ひきこもり支援については、家族からの相談を受ける場合も多く、本人への支援介入についてはアウトリーチを行い、支援介入のタイミングを図っている。また、状況に応じて重層型支援体制整備事業との連携・保健師やその他関係機関と連携を図り、役割分担をし長期的視点での支援を行っている。

③アウトリーチ支援員のスキルアップへの取り組み

- ・ひきこもり支援に関する研修やひきこもり支援部会など研修や勉強会に積極的に参加し、専門的な知識取得やスキル向上に向け取り組みを行った。

5. 活動実績表

月	活動名
4月	重層体制整備事業 ひきこもりネットワーク及び居場所づくり事業事前調整 重層体制整備事業クロスプラン会議（ケース） 生活困窮ネットワーク協議会
5月	重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業検討会
6月	重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業検討会 重層体制整備事業クロスプラン会議 ひきこもり専門分科会 ひきこもり担当者連絡会（オンライン） 市町村セミナー（オンライン） 生活困窮ネットワーク協議会
7月	重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業検討会 重層体制整備事業クロスプラン会議 ひきこもり家族交流会（県ひきこもり地域支援センター主催：オンライン）
8月	重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業検討会 重層体制整備事業クロスプラン会議 ひきこもり支援調整会議（事前検討） ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修 前期研修（国県）

	<p>ひきこもり家族教室に同行（保健所主催）</p> <p>ひきこもりカフェ（オンライン）</p> <p>生活困窮ネットワーク協議会</p>
9月	<p>重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業検討会</p> <p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議（事前検討）</p> <p>ひきこもりオンラインカフェ</p> <p>ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修 後期研修（国研）</p> <p>ひきこもり家族教室に同行（保健所主催）</p>
10月	<p>重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク等に関する打ち合わせ</p> <p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議</p> <p>ひきこもり専門研修会（ZOOM）</p> <p>生活困窮ネットワーク協議会</p> <p>ひきこもり家族教室に同行（保健所主催）</p>
11月	<p>重層体制整備事業庁内連携会議（第44回）・担当者会議（第7回）重層的支援会議・支援会議（クロスプラン会議）</p> <p>重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク事業（相談支援を考えるワーキング）企画会議</p> <p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議</p> <p>ひきこもり家族教室に同行（保健所主催）</p> <p>社会福祉協議会の居場所（拠点）支援の会議</p>
12月	<p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議</p> <p>ひきこもり専門分科会</p> <p>ひきこもり家族講演会（県ひきこもり地域支援センター主催）</p> <p>生活困窮ネットワーク協議会</p> <p>ひきこもり相談支援実践研修会 D 研修会</p>
1月	<p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議</p> <p>ひきこもり家族教室に同行（保健所主催）</p>
2月	<p>重層体制整備事業ひきこもり支援ネットワーク会議 （倉敷市のひきこもり相談支援を考えるワーキング）</p> <p>重層体制整備事業クロスプラン会議</p> <p>ひきこもり支援調整会議</p>

	生活困窮者ネットワーク協議会 ごちゃまぜ支援の会（重層体制整備事業主催）
3月	ひきこもり支援調整会議 ク重層体制整備事業ロスプラン会議 社会福祉協議会の居場所（拠点）支援の会議